

④認知症ケアに対するサポート

- 認知症疾患の鑑別診断
 - 適切なケアへ
 - 硬膜外血腫等治療可能なものの診断、脳外科との連携～治療
- 状態像の診断とその治療、適切なケアへのアドバイス
 - せん妄？、幻覚妄想？、反応性？、中核症状？、BPSD？、身体疾患？ 等
 - 経過中継続して必要、環境調整へのアドバイス、必要なら薬物療法
 - 住み慣れた「生活の場」からできるだけ離れなくてもいい様、外来・アウトリーチが基本
 - どうしてもその場や他施設で対応しきれない場合入院加療(相対的必要性による)
 - 多職種、多資源連携の一員として
- 地域で必要不可欠な社会資源の立ち上げ

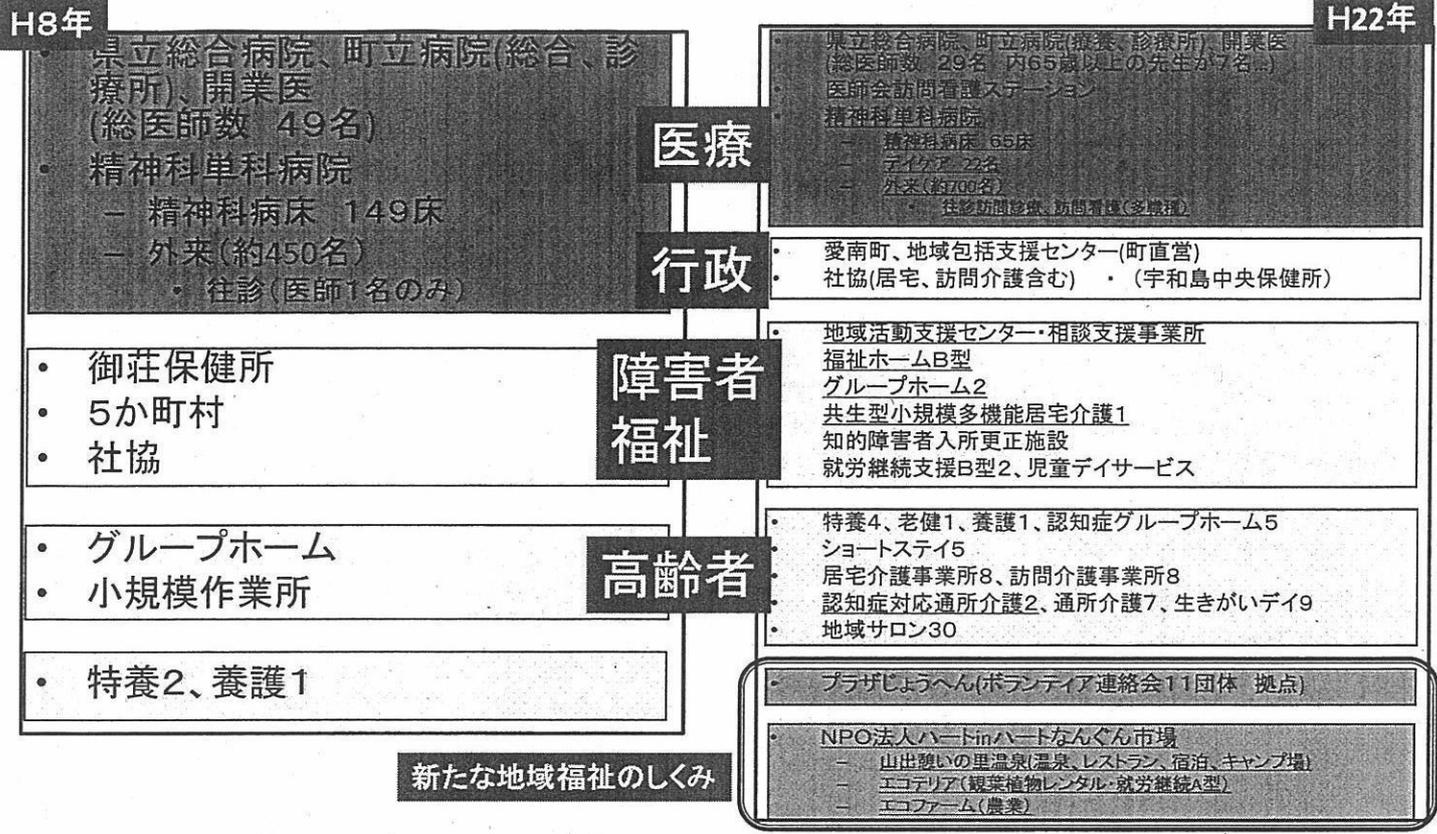
⑤かかりつけ医との連携サポート(合併症)

- 初期から「“からだ”のかかりつけ医」と「“こころ”のかかりつけ医」体制
 - リエゾンを中心としたサポート～身体疾患は適切な診療科で
 - 多職種による日常の連携を重視(医師会、地域ケア研究会など)
 - 特養、老健、養護、グループホーム等 「身体科医」「精神科医」両方の囑託医

愛南町における認知症地域ケアの「体制」

自前の支援サービスと地域資源、連携

愛南町における医療保健福祉資源の状況



平成8年(総人口3.1万人、高齢化率26%)

平成22年(人口2.6万人、高齢化率32%)

地域ケアにおけるニーズを満たすために 御荘病院 精神医療福祉の構造改革

